

「下野市地域福祉計画」及び「地域福祉活動計画」の事業総括結果の概要

1 事業数 地域福祉計画 31、地域福祉活動計画 48、合計 79

2 基本目標毎の事業数

目標 1（ふれあい、支え合い、助け合いの地域づくり） 19

目標 2（安全・安心な暮らしやすいまちづくり） 45

目標 3（地域福祉を推進するしくみづくり） 15

合 計 79

3 自己評価による達成度

区分	達成度	事業数	比率 (%)
全体	A	0	0.0
	B	50	63.3
	C	28	35.4
	D	1	1.3
地域福祉計画	A	0	0.0
	B	26	83.9
	C	5	16.1
	D	0	0.0
地域福祉活動計画	A	0	0.0
	B	24	50.0
	C	23	47.9
	D	1	2.1
基本目標 1	A	0	0.0
	B	11	57.9
	C	8	42.1
	D	0	0.0
基本目標 2	A	0	0.0
	B	34	75.6
	C	10	22.2
	D	1	2.2
基本目標 3	A	0	0.0
	B	5	33.3
	C	10	66.7
	D	0	0.0

＜達成度基準＞

A：目標を達成した施策・事業

※実績が設定目標に到達または超過した事業

B：目標に向けて向上した、もしくは継続している施策・事業

※実績の内容に、策定時よりも改善がみられる事業

C：現状維持の施策・事業

※計画策定時から継続して推進している事業

D：後退した、廃止した施策・事業

- 全体としてみると、79事業のうち50事業(63.3%)が「達成度B(向上もしくは継続)」と評価されている。また、「C(現状維持)」は28事業(35.4%)であり、BとCの評価の事業が全体の98.7%を占めている。「A(目標を達成)」評価はゼロ、「D(後退・廃止)」は1事業(1.3%)である。

また次期計画への反映の視点では、77事業(97.4%)が「継続」で、「見直し」と「廃止」はともに1事業(1.3%)である。

- 計画別にみると、地域福祉計画では、31事業のうち「B」評価が26事業(83.9%)で最も多く、「C」評価は5事業(16.1%)、「A」評価と「D」評価はともにゼロとなっている。

地域福祉活動計画(以下、「活動計画」と表記)では、48事業中「B」評価が24事業(50.0%)、「C」評価は23事業(47.9%)、「A」評価はゼロ、「D」評価は1事業(2.1%)である。

次期計画への反映では、地域福祉計画に「見直し」1事業、活動計画に「廃止」1事業となっている。

- 基本目標別にみると、基本目標1(ふれあい、支え合い、助け合いの地域づくり)では、19事業のうち11事業が「B」と評価され、8事業が「C」評価、「A」評価と「D」評価はともにゼロである。

基本目標2(安全・安心な暮らしやすいまちづくり)では、45事業のうち34事業が「B」評価、10事業が「C」評価、「A」評価はゼロ、「D」評価は1事業である。

基本目標3(地域福祉を推進するしくみづくり)では、「C」評価が10事業で最も多く、「B」評価は5事業、「A」評価と「D」評価はともにゼロとなっている。

次期計画への反映が「見直し」及び「廃止」の各1事業は、ともに基本目標2に含まれるものである。

- 達成度が「D」の1事業は次のとおり。

【地域福祉活動計画】基本目標2 安全・安心な暮らしやすいまちづくり

施策① 生きがいつくり

15 高齢者サロン事業の支援 ※「廃止」

4 次期計画への反映

区分	内容	事業数	比率(%)	区分	内容	事業数	比率(%)
全体	継続	77	97.4	基本 目標1	継続	19	100.0
	見直し	1	1.3		見直し	0	0.0
	廃止	1	1.3		廃止	0	0.0
地域福祉計画	継続	30	96.8	基本 目標2	継続	43	95.6
	見直し	1	3.2		見直し	1	2.2
	廃止	0	0.0		廃止	1	2.2
地域福祉活動計画	継続	47	97.9	基本 目標3	継続	15	100.0
	見直し	0	0.0		見直し	0	0.0
	廃止	1	2.1		廃止	0	0.0

- 次期計画への反映が「見直し」の1事業は次のとおり。

【地域福祉計画】基本目標2 安全・安心な暮らしやすいまちづくり
 基本的方向性4. 福祉サービスが充実しているまち
 取り組み(3) 相談・情報提供体制の充実

地域情報化の推進 ※「B」評価

地域福祉計画及び活動計画の全79事業において、達成度Aゼロ、B63.3%、C35.4%、D1.3%である。計画別にみると、地域福祉計画は達成度Aゼロ、B83.9%、C16.1%、Dゼロであり、活動計画は達成度Aゼロ、B50.0%、C47.9%、D2.1%である。

- 全体で見ると達成度Bの「目標に向けて向上した、もしくは継続している施策」が最も多く、両計画にも共通している。
- 基本目標3「地域福祉を推進するしくみづくり」においては、達成度CがBを抑えて最も多く(66.7%)、事業の維持継続を図る状況から、改善・向上を目指し活動を推進していく。

次期計画への反映として、全79事業の内容をみると、継続が97.4%、見直しと廃止はともに1.3%(1事業)であり、すべて基本目標2に含まれている。見直しの事業は地域福祉計画に、廃止の事業は活動計画に含まれるものである。

- 全体で見ても、計画別にみてもほぼ全ての事業が「継続」であり、次期計画に反映させ、発展させていくことが求められている。
- 継続事業は更なる発展を求め、廃止事業には新規事業や新たなニーズを掘り起こす事業を展開していく。

これらの評価をもとに、第2期地域福祉計画及び活動計画の策定を進めていく。また、本計画は健康・福祉分野の基幹的計画として位置付けられているため、第2次下野市総合計画や他の関連計画、関係各課また社会福祉協議会と連携を図り策定していく。